

車イスで世界を駆ける

de JA1RIZ

たまに朝早く目覚めるときがある。

そんな時、ラジオの火を入れてNHKを聞く。早朝には、よく人生を考えさせられるような番組がある。

10月6日「明日へのことば」の時間の番組名が表題の内容であった。

インタビューされた人は、高校3年生で脊髄損傷のため下半身不随になり車イス生活を余儀なくされた木島英登(むらしま へいとう)氏である。

氏は、神戸大学の初めての車イスの学生として同大を卒業。広告代理店に入社したがその後独立、『木島英登バリアフリー研究所』を立ちあげている。彼はバリアフリーの観点から、124ヶ国を訪問しているという。

この人はハンディがありながらも前向きにチャレンジしている。すごいなと思う。あれこれと書き記すよりも彼のホームページをのぞいて見た方が良いでしょう。興味のある人は見にいて下さい。

(以上)